



団長研修会の様子

茨城県との共催による「令和七年度消防団長研修会」を七月八日(火)から九日(水)にかけて、土浦市の「ホテルマロウド筑波」などにおいて開催し、県内の消防団長四十三名と市町村担当者三十五名の計七十八名が参加されました。

研修一日目は、まず、県消防安全課の藤井直路課長から「消防団の充実強化等について」、県立消防学校の菊池龍一校長から「消防団員教育訓練の概要について」それぞれ説明がありました。

令和七年度 消防団長研修会を 県南北部支部当番で開催



6・7月号

発行所
水戸市千波町1918番地
茨城県総合福祉会館内
公益財団法人茨城県消防協会
編集発行人
消防協会長 葉 梨 衛
印刷所
(有)堀口印刷
1部 15円
(購読料は負担金に含まれています)



藤井消防安全課長の講演



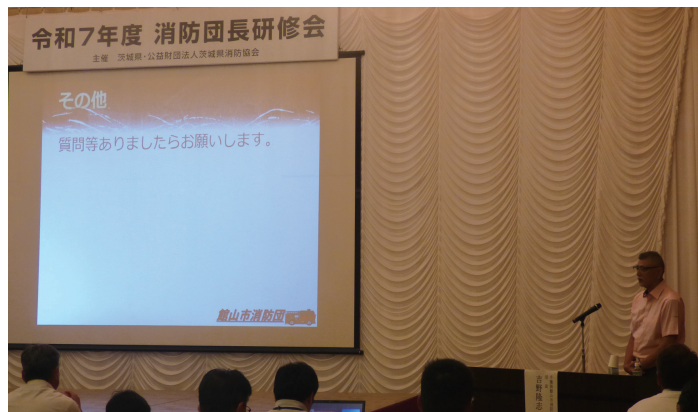
葉梨会長あいさつ

その後、(公財)日本消防協会「新たな災害環境に対応する消防団のあり方に関する講座」の講師で、館山市消防団長の吉野隆志氏を迎え、「館山市消防団の活動について」講演をいただきました。

吉野講師からは、消防団のあり方が変わりゆく中、館山市消防団長として、「自ら考え行動する消防団」の活動指針の下、事務局主導でない自主性のある団活動や、各部の主体性、先輩からの代々の教え、生業、家庭を第一に優先するこ

などを大切にしながら、様々な団活動に取組まれていることが紹介されました。

参加された全団長が熱心に聴講し、活発な質疑応答も行われ、消防団の運営方策の一助となる大変有意義な講演となりました。



吉野講師(館山市消防団長)

また、県内の災害対応事例の発表では、常総広域消防本部消防長の岡野智行講師から、「水利の確保が困難な地域火災」消防団の活躍によって成し得た鎮火」というテーマで、本年二月十三日に発生した常総市建物火災の消火活動について、映像などを交えての貴重な講演をいただきました。

強風により、飛び火の延焼が続く中、消防団が連携し、長距離中継で水利を確保できたことが、鎮火に至った大きな要因とのことでした。



岡野講師(常総広域消防本部)

なお、研修会終了後の意見交換会では、来賓として山口雅樹県防災・危機管理部次長、開催地である安藤真理子土浦市長にもご出席いただき、講師を交えた参加者の活発な意見交換が行われました。

二日目は、NHKエンタープライズが運営する「ワープステーション江戸(つくばみらい市)」を特別に視察し、見聞を広げられました。

来年度は、県西支部が当番となり開催しますので、よろしく願います。

機能別消防団員制度の 導入促進について

消防協会では、減少傾向にある消防団員数に歯止めをかけられるよう、消防団の組織強化策として、特定の活動や役割のみに参加する「機能別消防団員制度」の導入促進を支援することなどを「中長期運営計画(令和五年度・令和九年度)」に位置づけております。

計画目標では、全市町村で機能別消防団員制度の導入を目指しておりますが、本年四月一日現在、県内で導入した市町村は二十一と、全体の半分弱にとどまっております。

【地域・実情に合わせた機能別団員・機能別分団の例】

平日常日中の大都市出動や緊急対応の人員を補いたい場合	事業所機能別
大規模災害時の人員を補いたい場合	大規模災害機能別
人口が少ない地域で人員を補いたい場合	消防職団員や関係機関のOB機能別
大学や専門学校等が地域にあり、広報活動を充実させたい場合	学生機能別
山間部等において、情報収集活動等を充実させたい場合	ドローン等の機能別

機能別消防団員には、様々な種類があり、地域の特性によって必要な機能が異なるため、地域に必要な機能を、市町村と消防団で対話しながら検討していくことが重要であります。

また、機能別消防団員を導入するには、基本団員の理解が不可欠であるため、目的（機能別団員は基本団員を補完するために導入）や処遇（機能別団員と基本団員は報酬が異なるなど）について、団幹部や基本団員に丁寧に説明することも大切です。

今年度から、機能別消防団を創設するとき、または初めて機能別消防団員を採用するときは、その創設等に要する経費の一部を助成する「機能別消防団員設置促進助成（経費の二分の一、限度額十万円）」を、「消防協会助成事業」に新設しましたので、未導入の市町村においては、是非ご活用いただくとともに、機能別消防団員制度の導入にご理解ご協力をお願いいたします。

第七十六回
茨城県消防ポンプ操法競技大会
地区大会の概要

今年度の「第七十六回茨城県消防ポンプ操法競技大会地区大会」の概要が次のとおり決定しました。

なお、今回から、選手の負担軽減を図るため、開・閉会式を大幅に簡素化して実施しますので、ご理解ご協力の程よろしく願います。

【県北地区（東海村当番）】

開催日 九月二十八日（日）
場 所 県立消防学校
出場隊 ポンプ車6小型ポンプ7

【県央地区（小美玉市当番）】

開催日 十月五日（日）
場 所 県立消防学校
出場隊 ポンプ車6小型ポンプ2

【鹿行地区（銚田市当番）】

開催日 十月十八日（土）
場 所 銚田市総合公園
出場隊 ポンプ車5小型ポンプ5

【県南南部地区（取手市当番）】

開催日 十月二十六日（日）
場 所 取手市藤代庁舎南駐車場
出場隊 ポンプ車4小型ポンプ5

【県南北部地区（土浦市当番）】

開催日 十月十九日（日）
場 所 土浦市消防本部
出場隊 ポンプ車5小型ポンプ2

屋外訓練場

【県西地区（結城市当番）】

開催日 十月五日（日）
場 所 ヒロサワ運動公園駐車場
出場隊 ポンプ車3

第二十六回 全国女性消防操法大会に
「潮来行方女性消防隊」
が出場

来る十月二十八日（火）に、横浜赤レンガ倉庫イベント広場において、「第二十六回全国女性消防操法大会」が開催されますが、本県代表として、潮来市と行方市で結成された「潮来行方女性消防隊」が初めて出場します。

- ・隊長 黒澤 鮎美
- ・指揮者 平山 由加
- ・一番員 眞家 美早
- ・二番員 岩本 真侑
- ・三番員 和田 直子
- ・四番員 落合 絢子
- ・補助員 黒澤 明那



潮来行方女性消防隊結成式の様子

皆様の応援よろしく願います

第五十二回
茨城県消防救助技術大会
開催

六月十四日（土）に、茨城県消防長会との共催による「第五十二回茨城県消防救助技術大会」が、筑西広域市町村圏事務組合消防本部において開催されました。

同大会は、日頃の消防救助訓練の成果を競うために開催しているもので、各隊員が互いに持っている救助技術を披露し合い、技術の相互交換、研鑽の場となりました。

なお、本大会で優秀な成績を収めたチームが、「第五十三回消防救助技術関東地区指導会」に出場し、その結果、陸上の部で二チーム、水上の部で一名の方が、八月三十日（土）に兵庫県立広域防災センター兵庫消防学校で開催される「第五十三回全国消防救助技術大会」へ出場することとなりました。

県大会及び関東地区指導会の成績は次のとおりです。

【第五十二回
茨城県消防救助技術大会成績】

◎ ロープブリッジ救出

一位 茨城西南A

（諏訪大貴・張替直樹・海老沼悠貴・田崎壮太）

二位

常陸太田市B

（大森健司・大関駿斗・大金拓海・照沼汰一）

三位

ひたちなか・東海A

（園部快斗・照沼大成・黒澤一祥・大田和一輝）



ロープブリッジ救出

- 四位 日立市B
(古賀優輝・永山広翔・新井亮・滝健志)
- 五位 稲敷広域A
(萩沼棕太・小野駿介・矢吹圭吾・青木亮太)
- 六位 水戸市A
(宮田恒志・大平舜・吉川僚慶・砂押花道)
- ※一位～三位は関東地区指導会出場



障害突破

- ◎障害突破
- 一位 稲敷広域A
(三瓶大地・小山樹・根本佳祐・藤本宏樹・柏井健人)
- 二位 筑西広域A
(藏谷武・稲見颯吾・清水宏基・中原恒太・高野兼輔)
- 三位 日立市A
(萩谷一斗・大貫瑠也・三森向陽・沼田遥輝・佐藤惟人)
- 四位 茨城西南A
(古橋弘貴・山中拓磨・田口仁・廣田将・山本佳楠)
- 五位 那珂市A
(新江友和・後藤大輝・大久保洸弥・鹿志村洸太・中村陸翔)
- 六位 稲敷広域B
(蓮見理貴・楠本大吾・山瀬龍輝・萩沼俊亮・木村寛佳)
- ※一位～三位は関東地区指導会出場



引揚救助

- ◎引揚救助
- 一位 鹿行広域A
(出頭鴻太・永野志瑞也・横瀬大知・千ヶ崎裕馬・小沼慶祐)
- 二位 川崎竜誠・宇野叶夢・山田周・岡崎里久・西野蓮
- 三位 かすみがうら市A
(畠山海斗・内藤光希・山口裕人・岩本匠平・助川颯人)
- 四位 常陸大宮市A
(黒澤拓也・小林卓也・菊池紳吾・鈴木聖弥・櫻村雄大)
- 五位 茨城町A
(小林純・田上翔太・清宮隼人・清水巧美・遠藤亮太)
- 六位 茨城町B
(荒川瑞稀・長谷川諒・生田目慎吾・大野順哉・村上好誠)
- ※一位～二位は関東地区指導会出場
※水上の部は、県大会実施せずに関東地区指導会へ出場。

【第五十三回 消防救助技術関東地区指導会】

七月十八日(金)

神奈川県総合防災センター・神奈川県消防学校

《陸上の部》

◎ロープブリッジ救出 (全国大会出場)

茨城西南(諏訪大貴・張替直樹・海老沼悠貴・田崎壮太)
ひたちなか・東海(園部快斗・照沼大成・黒澤一祥・大田和一輝)

《水上の部》

◎複合検査 (入賞)

常総広域(倉持翔真)
つくば市(石山誉大)

◎基本泳法 (全国大会出場)

鹿島地方(西山涼介)
(入賞) 稲敷広域(柿本倭)

◎溺者搬送 (入賞)

つくば市(松橋柊・中川怜茄)
鹿行広域(小原竜来・大塚啓洋)

◎溺者救助 (入賞)

常総広域(倉持翔真・石塚陽兵・富山綸沙)
稲敷広域(柿本倭・内山皓太・小堀風音)

◎水中検査救助 (入賞)

つくば市(吉野一平・國府田翔平・七尾岳彦・石山誉大)

消防団幹部教育 第六十四期 指導員養成科修了

今年度の「消防団員幹部教育第六十四期指導員養成科」が、県立消防学校において、五月三十日(金)、三十一日(土)と、六月三十日(月)、七月一日(火)の延べ四日間の日程で開催され、県内十三消防団から二十九名が参加されました。



第64期指導員養成科の皆様

消防団員の教育訓練の中心を担う、幹部課程ということで、「幹部の心得」をはじめ、「安全管理」、「訓練礼式」、「災害情報収集・伝達」、「火災防ぎよ」、「救助・救命活動」など、災害現場での対応だけでなく、幅広い研修を実施することにより、幹部団員としての知識や技術の研鑽を図りました。



訓練の様子

今後、指導員として、研修の成果を、地元消防団員への教育訓練に活かしながら、更にご活躍されることを期待しております。

「茨城県消防殉職者慰霊祭」と 「茨城県消防大会」の開催日程

これまで「消防殉職者慰霊祭」と「消防大会」は同日に開催しておりましたが、今年度は、「消防殉職者慰霊祭」を、十月三十日(木)に県立消防学校屋内訓練場において、「消防大会」を、十一月二十日(木)に県庁講堂においてそれぞれ開催することになりました。詳細は、追ってお知らせいたします。



昨年度の消防大会の様子

オリジナル Tシャツ
アポロキャップ
徽章類
消防グッズ各種

水戸スポーツ株式会社

水戸市袴塚1-1-2

TEL029[224]3450 FAX029[224]3430

編集後記

残暑お見舞い申し上げます。
ナスときゅうりとトマトで暑さを乗り越えたい毎日です。(のむら)

全国シェアNo.1の消防車メーカー
(株)モリタの各種消防自動車
常に最新技術を反映して様々な災害現場で活躍する消防車を制作します。

その他の取扱品目

小型動力消防ポンプ・消防用ホース
救助資機材・潜水機材・消防用被服
防災用品・消防用品・消防資機材

茨城県代理店

有限会社 鈴 機

〒315-0014 石岡市国府5-2-25

TEL:0299-22-3010 FAX:0299-22-5846

Panasonic

自動火災報知設備
非常電源設備
自家発電設備
CVCF設備
FAX、パソコン

パナソニック株式会社 特機商品代理店

株式会社入江電機工業所

本社 水戸市大工町2丁目3番23号
TEL.029-224-4614(代表)
FAX.029-224-4613

土浦営業所 土浦市並木1丁目2番20号
TEL.029-821-8498(代表)
FAX.029-822-6575

トーハツ 小型ポンプ

VE90AS 最大量1.5m³毎分
VC72PROIII 操法最適
VF63AS 4ストローク B2級
VF53AS 4ストローク B3級
VF21AS 4ストローク C1級

消防服装 消火器 防災備蓄食品
船外機 発電機 消防資機材

茨城県代理店

トキワ産業株式会社

水戸市三の丸3丁目7番1号

TEL.029(224)3324(代) FAX.029(224)3360